

事務事業名 防犯灯補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：66

施策：	08	くらしの安全対策の推進	財務コード	01020111-04-00
基本事業：	01	犯罪に強い地域づくり	担当部	総務部
基本事業の成果指標	市民が防犯のために取り組んでいる項目の数（平均） 地域（行政区又はコミュニティ）における防犯活動に参加している市民の割合 防犯設備の整備状況への満足度		担当課	危機管理課
			担当係	生活安全・防犯担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和49年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
行政区、自治会		各行政区が設置する防犯灯及びその電灯費について、予算の範囲内で補助金を交付する。 防犯灯設置補助 新設：2 / 3 補助 補修：2 / 3 補助 LEDのみで蛍光灯は認めていない。移設は補助なし。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【補助金交付の流れ】 補助金申請書、見積書、現況写真の提出 補助交付通知 完了届、請求書、領収書（写）提出 補助金交付				
防犯灯設置を促進させ、もって街頭犯罪発生件数を減少させる。		防犯灯電灯費補助 2 / 3（LED10Wの場合は1 / 2）補助 【補助金交付の流れ】 補助金申請書、防犯灯電気料の領収書（写）、請求書提出 補助金交付				
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
街頭犯罪発生件数	件	377	258	350	250			350
防犯灯総設置件数	件	8,651	8,661	8,750	8,700			8,850

5. コスト									
事業費	計	千円	24,536	24,062	25,265	24,669			
	国	千円	270	270	270	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
	一般	千円	24,266	23,792	24,995	24,669			
正職員人工数	人工	0.4	0.4	0.4					
正職員人件費	千円	3,226	3,212	3,168					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	27,762	27,274	28,433	24,669				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	<状況>街頭犯罪発生件数は減少している。H28年中：608件、H29年中：420件、H30年中：363件、R1年中：377件 街頭犯罪：強制わいせつ等、空き巣、忍込み、居空き、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗、ひったくり、車上ねらい、部品ねらい、万引き 防犯灯をLEDに切り替える行政区が多くなっており、維持管理のコスト削減も図られている。 <原因>新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響が大きいと考えられる。 強制わいせつ、空き巣、自転車盗等が減少している。 <課題>今後も継続して、防犯灯数の増加を補助により支援していく。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和49年筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程制定。 平成7年6月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正。 平成24年3月筑紫野市防犯灯設置等補助金交付規程全部改正（LED灯への変更）。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									